

四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立 内部小学校

校長 樋口 満

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

内部小学校では、地域とともに歩む学校づくりをめざして、これまで多くの地域の方々、諸団体、保護者の方々に学校のいろいろな活動に参加し協力していただけてきました。コミュニティスクール（運営協議会）はこれらの団体や諸活動を全体的に捉え、活動内容や今後の方向について協議し、学校と地域、家庭との結びつきをさらに強めていくための提言をしていくことをめざします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**（1）教育活動の実践事例**

<地域と結びついた活動内容>

- 1年 昔の遊び（長寿会さんと）
- 2年 自然と親しむ～リースづくり～
（内部っ子はげまし隊さんと）
- 3年 ホタル学習
（ホタルの会の方と）
- 4年 剪定作業
（内部っ子はげまし隊さんと）
炊き出し体験
（みえ減災啓発支援ネット・社協・
婦人会さんと）
- 5年 米づくり（地域住民の方と）
- 6年 戦争体験を聞く会
（内部っ子はげまし隊さんによる）



<4～6年 クラブ活動指導>

グラウンドゴルフ・楽しい小物づくり・昔の遊び・ニュースポーツ・キッズ消防・お菓子・編み物・イラスト・茶道の全9クラブは、内部長寿会・内部婦人会・市社会福祉協議会・総合型地域スポーツクラブうつべ☆スター体育指導委員・地域住民・保護者・内部消防分団のみなさん等のご協力を得ています。

<見守りボランティア>

内部地区三校二園 PTA 連絡協議会・通学路検討委員会では、自治会や地区市民センターとも情報共有し、子どもたちの安全のための対策をしています。

また、通学路の安全確保や登下校指導では、PTA・各地区子ども会・住民ボランティアさんの協力を得ています。

＜ボランティア団体「おはなし mam さん」＞

読書週間には、全学年で「おはなし mam さん」による本の読み聞かせを年3回行っています。また、おすすめ本コーナーを作って本の紹介をしたり、本の修理を行ったり、図書館まつりに渡すしおりを作成したりして、子どもたちがより本に親しめるような活動を続けてもらっています。今後も様々な活動を模索し、より豊かな実践になるよう努めます。



＜おじいさんおばあさんありがとう集会＞

日常の温かいかわりだけでなく、上記のさまざまな学習活動を通し、児童は地域の方々に親しみをもつとともに、感謝する気持ちを強く抱いています。その感謝の気持ちを伝えようと、本校では、地域の高齢者やお世話になっている方々を招待して、ありがとう集会を行っています。集会に向けては、全校児童が一生懸命練習を重ねるほか、招待状を書いて届けたり、ポスターやプログラムを作成したりしています。招待者は児童の発表をととても楽しみにしており、当日の参加者は240人を超えるほどとなっています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組みによる効果

① 本校の学校づくりビジョンを検討し承認しました。

学校の1年間の活動内容を学校アンケートをもとに評価しました。

② PTA総会、おじいさんおばあさんありがとう集会、学校保健委員会、6年生を送る会に参加し、子どもの活動や保護者の様子を参観しました。いろいろな場で委員が話をする機会を設け、コミュニティスクール（運営協議会）の活動についても理解を図りました。

③ 全学年の授業を参観し、学習内容や子どもたちの様子に直に触れました。どの子も生き生きと活動している様子がうかがえました。学習面での成果と課題について学校から説明を受け、基礎・基本の定着のため、算数科での少人数指導やTT授業の活用を引き続き進めてほしいと提言しました。

④ 生活習慣・読書習慣チェックシートを活用し、中学校とも連携しながら子どもたちのより健全な家庭生活について考え、取り組みました。

⑤ コミュニティスクール（運営協議会）の今後のあり方について検討しました。

今年度の学校アンケートでも、「学校は地域教材や人材・企業と連携する学習

を積極的に取り入れていますか。」の項目に対し、肯定的に評価した保護者の割合が92%とたいへん高い割合を示しています。学校と地域が強く結びついていることを保護者に理解、支持していただいています。

コミュニティスクール（運営協議会）が学校と地域、保護者のパイプ役となり、学校運営全体について助言や意見を述べることで、保護者の満足度も高まっています。子どもたちも体験や活動を通して地域とつながっていることの喜びを実感しています。

3 今後に向けて

コミュニティスクール（運営協議会）では、授業参観や学校公開の機会をとらえて、または日常の学校での子どもたちの様子や地域での様子をとらえて、学校教育活動に対するさまざまなご意見やご助言をいただいています。コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みが、地域や家庭にもっと広く理解されていくように情報発信をしていくとともに、学校での教育活動が保護者からさらに高い評価をしてもらえるように下記のことに取り組んでいきたいと思えます。

- ・ 学校が地区の防災活動に、参画していく方法や内容を検討します。
- ・ 地域や保護者がさらに学校と結びつきを強くしていく活動や、そのための人材を開拓します。
- ・ 来年度も学校医を招聘し、子どもたちのよりよい成長に向けて、コミュニティスクール（運営協議会）委員と教職員と保護者が一緒になって意見交流を図ります。
- ・ コミュニティスクール（運営協議会）と保護者（PTA）との連携を図ります。

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立内部小学校

委員長 東川 日出夫

校長 樋口 満

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第1回 運営協議会	コミュニティスクールについての説明 コミュニティスクール委員委嘱 学校ビジョン説明と承認
5	第2回 運営協議会	おじいさんおばあさんありがとう集会参観 地域での子どもたちの様子、意見交換
6		
7		
8		
9		
10	第3回 運営協議会	授業参観の様子と意見交換・討議 全国学力学習状況調査結果と重点について意見交換 地域での子どもたちの様子、意見交換
11		
12		
1		
2	第4回 運営協議会	授業参観の様子と意見交換・討議 地域での子どもたちの様子、意見交換 学校保健委員会への参加、意見交換
3	第5回 運営協議会	学校アンケート結果をもとに本年度の評価 6年生を送る会参観 学校や地域での子どもたちの様子、情報交換 この一年間を振り返って 来年度の方向について